

平成 22 年 研究業績

[Research and Social Work in 2010]

研 究 業 績

■ 河 田 恵 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
津波被害とその対策	単著	2010年12月1日	日本専門図書出版	日本の自然災害, 286-319頁
津波災害 ― 減災社会を築く	単著	2010年12月17日	岩波書店	岩波新書, 189頁
(学術論文)				
Method of sharing common awareness regarding particular issues under wide-area catastrophic disaster—a case study of the Tonankai-Nankai earthquake tsunami disaster	共著	2010年4月10日	Tohoku Univ.	3rd International Tsunami Field Symposium, CD ロム, Okumura, Y. Y. Kawata et al., 査読付
近年の風水害の激化と減災対策	単著	2010年3月	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	減災 Vol. 4, 4-11頁
緊急対応時に必要な都市機能	単著	2010年3月	財大阪府市町村振興協会	マッセ OSAKA 研究紀要 第13号, 33-42頁
自治体に対する地域防災力向上の期待	単著	2010年3月31日	財消防科学総合センター	消防科学と情報 No.100, 8-12頁
社会安全学部・研究科のめざすもの	単著	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編 「安全・安心を科学する」, 10-14頁
実学としての減災学と持続可能性社会	単著	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編 「安全・安心を科学する」, 81-84頁
絵図解説 摂河水損村々改正図	単著	2010年7月1日	(社)日本損害保険協会	予防時報 242, 2-5頁
地盤防災とハザードマップ	単著	2010年8月15日	(株)総合土木研究所	基礎工 Vol.38, No.8, 2-5頁
風水害被害の変化を知る (巻頭言)	単著	2010年8月1日	土木研究センター	土木技術資料 Vol.52, No.8, 3頁
総論／わが国で心配な巨大災害とその対応策について	単著	2010年9月1日	高圧ガス保安協会	高圧ガス Vol.47, 5-13頁
大規模災害と企業リスク ― 減災の視点から	単著	2010年11月25日	日本監査役協会	監査役 No.576, 4-16頁
日本文明の衰亡につながる管路耐震化の遅れ	単著	2010年5月20日	日本ダクタイル鉄管協会 (巻頭言)	ダクタイル鉄管 No.86, 4-5頁
様々な津波波形による液状化を考慮した地盤の劣化解析	共著	2010年11月	土木学会地震工学委員会	日本地震工学シンポジウム論文集 第13回, 奥村与志弘・河田恵昭ほか, 843-850頁, 査読付
2009年サモア諸島沖地震津波における住民の避難行動特性とその後の変化 ― 米領サモア現地調査を踏まえて ―	共著	2010年10月30日	土木学会	土木学会論文集 (海岸工学) Vol.66, 奥村与志弘・原田賢治・河田恵昭, 1371-1375頁, 査読付
海岸防災事業を継続的に進める	単著	2010年11月30日	港湾海岸防災協議会	波となぎさ (創立50周年記念誌) No.185, 8-10頁
(その他, 論考・研究資料等)				
新春知事対談: 震災15周年を迎えて「伝える」「備える」	共著	2010年1月1日	兵庫県広報課	ニューひょうご, No.494, 6-9頁 (兵庫県知事 井戸敏三氏と対談)
巻頭対談: 阪神・淡路大震災15周年特集 いま私たちは、大切な「命」と「絆」を守れますか…?	共著	2010年11月1日	日本土木工業協会関西支部	しびる, Vol. 27, 1-8頁 (俳優 竹下景子氏と対談)
特別座談会: 伊勢湾台風から50年	共著	2010年9月1日	近代消防社	近代消防, No.584, 36-43頁
連載: 氷山に向かうタイタニックのよう	単著	2010年2月10日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載: 「百年の計」 災害対策に不可欠	単著	2010年3月2日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載: 勧告, 指示 予想外れても津波は避難	単著	2010年3月24日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載: ハイチに学ぶライフラインの重要性	単著	2010年4月10日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載: 気候に影響する長期の噴火	単著	2010年4月24日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊

社会安全学研究 創刊号

連載：行楽シーズンに必要な危機管理	単著	2010年 5月 8日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：尊敬できるリーダー必要	単著	2010年 5月22日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：自然災害 無防備に近い首都	単著	2010年 6月 5日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：「持続可能な世界」めざして	単著	2010年 6月19日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：「安全」は日々の実践が重要	単著	2010年 7月10日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：大雨災害から身守る知識を	単著	2010年 7月24日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：住民も情報判断する力を	単著	2010年 9月11日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：自然と共生した生活が願い	単著	2010年 9月25日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：災害研究に必要な専門用語づくり	単著	2010年10月19日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：災害弱者関連施設は2階建てに	単著	2010年11月 9日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：大学受験 危機管理の視点から考えよう	単著	2010年11月23日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：避難勧告の実効性を高めるために	単著	2010年12月 7日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：真の「専門家」たる自覚と責任	単著	2010年12月21日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版朝刊
連載：めざせ！ハーバード①日本初の学部はすでに「日本一」次は「世界一」しかないでしょ。	単著	2010年12月20日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版夕刊
連載：めざせ！ハーバード②エリート育成は覚悟が必要 半年で私語をさせなくした。	単著	2010年12月21日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版夕刊
連載：めざせ！ハーバード③阪神大震災で目を開かれた学問は役に立たないとダメ。	単著	2010年12月22日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版夕刊
連載：めざせ！ハーバード④30年後には「世界のカンダイ」日人生をうまく送る力教えたい。	単著	2010年12月24日	産経新聞社	産経新聞社大阪本社版夕刊
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) A Safer Asia and Pacific Research Center	単独	2010年 2月26日	財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	平成21年度21世紀文明シンポジウム(ANA クラウンプラザホテル神戸10階ザ・ボールルーム)
Huge natural disasters in Japan and devastating compound disaster in Tokyo	単独	2010年10月14日	東京大学都市基盤安全工学国際研究センター	9th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia (神戸国際会議場)
(招聘講演) 「巨大災害に備える」		2010年 1月 5日	大阪府	大阪府都市整備部防災講演会(大阪府職員研修室 大研修室)
「防災・減災学の現状～阪神・淡路大震災から15年を経過して～」		2010年 1月 8日	宮内庁	皇太子殿下・同妃殿下 御進講(東宮御所)
「ほうさい甲子園の知恵袋」		2010年 1月10日	毎日新聞社／兵庫県／財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構	「ほうさい甲子園」表彰式(兵庫県会館)
「自然災害と危機管理」		2010年 1月12日	国土交通大学	緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)研修(国土交通大学)
「減災社会に向けた都市の課題」		2010年 1月14日	人と防災未来センター／UNISDR／DRA／兵庫県	国際防災・人道支援フォーラム2010(ポートピアホテル)
「新たな地震対策」		2010年 1月15日	NHK 教育テレビ	視点・論点
「身近にできる防災・減災対策」		2010年 1月16日	高槻市	防災講演会(高槻市役所総合センター2階生涯学習センター多目的ホール)
「減災の知恵の共有～身近で起きる災害に備える～」		2010年 1月19日	神戸市	地域防災シンポジウム(基調講演)(神戸国際会議場メインホール)
「次の巨大地震に備えて」		2010年 1月19日	NPO 法人「人・家・街 安全支援機構」	地域防災シンポジウム(予想される巨大地震に備えて)(神戸国際会議場5階502号室)

研 究 業 績

「新型インフルエンザの危機管理」	2010年1月19日	京都大学／関西大学	地域防災シンポジウム（比較防災学ワークショップ）（神戸国際会議場5階501号室）
「地球温暖化と風水害」	2010年1月22日	兵庫県阪神シニアカレッジ	兵庫県阪神シニアカレッジ（尼崎中小企業センター）
「北摂地域の地震に伴う災害と備え」	2010年1月30日	池田市／(株)地盤工学会関西支部	市民特別講演会（池田市民文化会館大ホール）
「近年の自然災害の特徴と防災・減災対策」	2010年2月3日	地方財政調査会	甲府市職員研修（甲府市自治研修センター）
「和歌山県における災害対応の課題 ～東南海・南海地震、津波対策～」	2010年2月8日	和歌山県／和歌山県市町村職員研修協議会／財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター	平成21年度 災害対策専門研修トップフォーラム in 和歌山（和歌山県庁）
「集中豪雨によるはん乱災害への対応」	2010年2月9日	兵庫県、(財)消防科学総合センター	兵庫県市町村長防災危機管理ラボ（クラウン神戸10階 The Ballroom）
「政府・自治体の東南海・南海地震対策」	2010年2月12日	ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀文明研究セミナー2009（人と防災未来センター ヒト未来館6階会議室）
「風水害」「津波災害・高潮災害」	2010年2月14日	防災士研修センター	防災士研修講座（堺市役所本館3階大会議室）
「これからの防災・減災——企業防災——」	2010年2月17日	(株)神戸ポートピアホテル	第11回交流会（神戸ポートピアホテル）
「地域の防災・減災を担う人材に求められる能力とは」	2010年2月18日	三重大学自然災害対策室	三重県防災教育センター研修（三重県総合文化センター内男女共同参画センター多目的ホール）
「地球温暖化に伴う各種リスク増大と危機管理」	2010年2月23日	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター	平成21年度共通基盤試験研究推進会議 農業気象部会（リサーチギャラリーオリエンテーションルーム）
「今後のめざすべき活動」	2010年3月6日	兵庫県広域防災センター	兵庫防災リーダー講座（三木市の広域防災センター）
「都市防災」「津波のしくみと被害」	2010年3月9日	エヌ・ティ・ティ ラーニングシステム(株)	防災士研修講座（Learning Square 新橋6-BC）
「これからの防災・減災のポイント」	2010年3月12日	NPO ニッポンアクティブライフクラブ	（西宮フロンテ5階フロンテホール）
「津波のしくみと被害」「最新の地震危機情報」	2010年3月24日	エヌ・ティ・ティ ラーニングシステム(株)	防災士研修講座（大阪国際交流センター）
「トヨタのリコール問題を考える」	2010年3月27日	関西大学	フレッシュキャンパスにて模擬講義（関大）
「Japan's Disaster Management System」	2010年4月15日	トルコ赤新月社／トルコ共和国内務省首長会	自然災害対策（地震対策）勉強会（トルコ共和国内閣府・国会議員向け講演）（人と防災未来センター東館3階グローバルトレーニングサイト）
我が国の防災・減災対策の現状と今後の課題	2010年4月24日	関西大学	高槻ミュージックキャンパス開校記念式典・開校記念オープンキャンパス社会安全学部・研究科開設記念講演（関大高槻ミュージックキャンパス ミュージックホール）
「防災力の向上と自治体の地域の危機管理」	2010年5月21日	市町村職員中央研修所	市町村アカデミー（市町村アカデミー）
「神戸と防災学」	2010年5月22日	神戸女子大学	神戸女子大学文学部神戸国際教養学科の授業講義（人と防災未来センター）
「首都圏の大規模水害による被害想定について」	2010年5月24日	土木工学・建築学委員会学際連携分科会 IRDR 小委員会	土木工学・建築学委員会学際連携分科会 IRDR 小委員会（日本学術会議6階6-A(1)会議室）
「長野県における自然災害とその対応」	2010年5月28日	長野県／公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター	平成22年度 災害対策専門研修トップフォーラム in 長野（長野県庁）

「防災総論Ⅰ」「防災総論Ⅱ」	2010年5月29日	福岡市	平成22年度博多あんあん塾（よみうりプラザ）
「都市巨大災害論」	2010年6月3日	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	平成22年度災害宅策専門研修（春期）エキスパートB（人と防災未来センター）
「近年の自然災害に学ぶ」「津波のしくみと被害」	2010年6月5日	防災士研修センター	防災士研修講座（アルフィック大阪3階303号室）
「地域防災力の向上と防災士の使命」	2010年6月12日	日本防災士会総会	日本防災士会総会（兵庫県民会館9階けんみんホール）
「Disaster Reduction and Its Systems」	2010年6月18日	社団法人近畿建設協会	JICA 研修講座（JICA 大阪国際センター）
「近年の水害を教訓にした風水害対策について」	2010年6月19日	鳥取市	自主防災会リーダー研修会（とりぎん文化会館第1会議室）
「これからの防災・減災について～過去の事例をまじえて～」	2010年6月20日	大阪ユニバーサルシティ・ロータリークラブ	大阪ユニバーサルシティ・ロータリークラブ講演（人と防災未来センター ガイダンスルーム2）
「大規模災害とその対応」	2010年6月21日	近畿地方整備局	国土交通省近畿地方整備局研修講座「平成22年度「防災・危機管理」研修」（近畿技術事務所）
「複合災害への変貌～首都直下地震から首都圏水没に至るシナリオ～」	2010年6月25日	科学研究費補助金基盤研究（S）研究成果発表会	第三回複合災害シンポジウム（関大東京センター）
「防災・減災 ― 空間情報技術者は何をなすべきか ―」	2010年6月30日	株式会社パスコ	パスコ研究成果発表会（東大 技術生産研究所）
「首都直下地震と首都圏水没による被害と対策」	2010年7月1日	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	独立行政法人国立病院機構災害医療センター開院・付属昭和の森看護学校開校15周年記念式での講演（パレス立川4階ローズルーム）
「気象台の役割～地震、津波、洪水など～」	2010年7月2日	大阪管区気象台	大阪管区気象台特別講演会（大阪管区気象台）にて講演
「減災は自助・共助・公助から」	2010年7月2日	西成区役所	平成22年度西成区女性学級第1回学習会（西成区民センターホール）
「東南海・南海地震による近畿圏への影響と防災対策」	2010年7月2日	協和産業	協和産業 記念式典（帝国ホテル）
「地震防災政策と地震予知」	2010年7月3日	京都大学 物質・細胞統合システム拠点	京都大学インテグリティセミナー（京大 iCeMS）
「首都直下地震と首都圏水没で考えなければならぬこと」	2010年7月8日	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター	内閣府との意見交換会（内閣府3階 防災A会議室）
「地震防災政策と地震予知」	2010年7月15日	ひょうご震災記念21世紀研究機構	第1回首都圏巨大災害研究会（人防東館6階第1会議室）
「大阪周辺の地震危険情報」	2010年7月15日	NPO法人「人・家・街 安全支援機構」	NPO法人「人・家・街 安全支援機構」総会・講演会（大阪市中央公会堂）
「我々市民は災害が起こった時どう対応すべきか」	2010年7月18日	関西大学校友会高槻島本支部	関西大学校友会高槻島本支部 平成22年度総会及び講演会・懇親会（高槻ミュージャンパス開校記念）（M706教室）
「大規模水害対策について」	2010年7月22日	日本プロジェクト産業協議会	第5回JAPIC防災委員会（鉄鋼会館8階811号室）にて講演
「これからの防災・減災について～過去の事例をまじえて～」	2010年7月31日	関西大学博修士会	H22年度関西大学博修士会総会・講演会・懇親会にて講演（ミュージャンパスマルチミーティングルーム）
「自治体の危機管理」	2010年8月3日	広島県自治総合研修センター	平成22年度研修（広島県自治総合研修センター）
「「稲むらの火」から「百年後のふるさとを守る」へ～語り部による披露～」	2010年8月4日	沿岸技術研究センター	「TUSNAMI」土木学会平成21年度出版文化賞受賞記念講演会（海運クラブ2階ホール）

研 究 業 績

「災害や犯罪にも役立つ危機管理」	2010年8月6日	奈良県	奈良県自主防犯・防災に関する講演会 (田原本青垣障害学習センター内「弥生の里ホール」)
「日本における防災減災経験と教訓」	2010年8月9日	中国人民大学	中国全国応急危機管理上級幹部研修会 (中国人民大学)
「東京首都圏の災害危険性」	2010年8月21日	危険学プロジェクト	危険学プロジェクト(六本木ヒルズ森タワー8階A会議室)
「これからの災害に備える」	2010年8月26日	西宮市大学・生涯学習推進グループ	平成22年度(2010年度)西宮市生涯学習大学 宮水学園必須講座(西宮市民会館アミティホール)
「首都壊滅」	2010年9月1日	NHK教育テレビ	視点・論点
「東南海・南海地震(海溝型地震)について」	2010年9月2日	関西電力	関西電力 防災講演会(関西電力(株)本店40階会議室)
「地震対策講演会～地域における危機管理体制のあり方～」	2010年9月6日	高石市商工会議所	高石市商工会議所講演会(高石商工会議所3階大会議室)
「災害のおそろしさ」	2010年9月7日	神戸市	こうべまちづくり学校 専修講座Bコース「安全で安心なまちをつくる」防災コミュニティづくりコース第1回(こうべまちづくり会館)
「大阪で起こる災害について～関西大学 社会安全学部の挑戦～」	2010年9月8日	大阪北ロータリークラブ	大阪北ロータリークラブ講演(卓話)(新阪急ホテル2階宴会場「花の間」)
「東南海・南海地震の津波対策について」	2010年9月11日	兵庫県淡路県民局	津波防災ステーション完成記念式典・津波防災フォーラム(淡路島:福良港津波防災ステーション)
「近年の自然災害に学ぶ」「津波のしくみと被害」	2010年9月12日	防災士研修センター	ひろしま防災リーダー養成講座での講義(広島県立広島産業会館 本館 会議室)
「防災協働社会の構築に向けて～暮らしの安全・安心を考える～」	2010年9月24日	広島県	ひろしま防災講演会(広島県民文化センター ホール)
「東南海・南海地震に備えて」	2010年9月30日	堺泉北港湾振興連絡協議会・阪南港湾振興連絡協議会	防災セミナー(大阪テクスピア 小ホール)
「都市災害・地域防災計画」	2010年10月6日	国際都市研究学院	国際都市研究学院(政策研究大学院大学)での講義
「心配な複合災害の発生——東京と大阪の壊滅——」	2010年10月8日	構造地盤研究所	ジオスト・シンポジウム(建設交流館8階グリーンホール)
「地域社会における危機管理」	2010年10月9日	兵庫県広域防災センター	ひょうご防災リーダー講座(兵庫県広域防災センター講堂)
「東南海・南海地震への阪神淡路大震災の教訓をどう生かすのか」	2010年10月10日	全日本病院協会	平成22年度 第52回全日本病院学会 IN 兵庫(神戸国際会議場4階402)
「Catastrophic Compound Disasters in Tokyo Metropolitan Area」	2010年10月14日	東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際センター	ICUS国際シンポジウム USMCA(神戸国際会議場3階)
「春日井市民にとって役に立つ危機管理を学ぶ」	2010年10月15日	愛知県春日井市	春日井安全アカデミー(春日井市役所6階研修室)
「都市災害・地域防災計画」	2010年10月16日	国際都市研究学院	国際都市研究学院(政策研究大学院大学)での講義
「私の考える防災教育」	2010年10月17日	防災教育チャレンジプラン	防災教育交流フォーラム(有明の丘基幹的広域防災拠点施設)
「台風9号災害に対する兵庫県検証委員会の検討」	2010年10月19日	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター	第16回地域防災計画実務者セミナー(京都大学百周年時計台記念館2階 国際交流ホールⅢ)
「都市巨大災害論」	2010年10月21日	人と防災未来センター	平成22年度秋季 災害対策専門研修「マネジメントコース」エキスパートB(人と防災未来センター)
「地震を中心とした大阪の災害について」	2010年10月21日	大阪府測量設計業協会	平成22年度測量設計業トップセミナー(大阪キャッスルホテル6階「白鳥の間」)

社会安全学研究 創刊号

「危機対応組織論」		2010年10月27日	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター	平成22年度秋期 災害対策専門研修 アドバンスト／防災監・危機管理監（人と防災未来センター 東館6階 第1・2会議室）
「災害情報と防災・減災」		2010年11月4日	総務省北陸総合通信局	防災情報通信講演会（福井県国際交流会館）
「宮城県における自然災害とその対応」		2010年11月5日	宮城県／公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター	平成22年度 災害対策専門研修トップフォーラム in 宮城（宮城県庁）
「わが国の気象・地震観測体制と災害対策の変遷」		2010年11月16日	独立行政法人国際協力機構	JICA 研修コース「中米防災対策」（人と防災未来センター西館5階 セミナーA・B）
「奈良地域の地震に伴う被害と備え」		2010年11月20日	奈良市／(社)地盤工学会関西支部	市民特別講演会（奈良市役所 中央棟6階 政庁）
「兵庫県における自然災害とその対応」		2010年11月26日	兵庫県、(財)消防科学総合センター	兵庫県市町村防災危機管理ラボ（ANA クラウンプラザ神戸9階ローズマリー）
「危機管理について考える」		2010年11月27日	福岡県、飯塚市	福岡県国民保護後援会2010（イイズカコスモスコモン 中ホール）
「最近の風水害の特徴」		2010年11月29日	全国治水期成同盟会連合会	治水事業促進全国大会（シェーンバッハ・サボア（砂防会館別館））
「地震災害に関して」		2010年11月30日	内閣府	政府現地災害対策本部（大阪）訓練（大阪合同庁舎第4号館4階講堂）での講演
「都市防災」・「津波災害・高潮災害」		2010年12月4日	防災士研修センター	防災士研修講座（門真市保健福祉センター4階会議室）
「奈良盆地東縁断層地震による最新被害想定」		2010年12月10日	NHK 奈良放送局	近畿管内災害対策総合訓練（NHK 奈良局）（奈良商工会議所）
「首都の大災害と企業防災（BCP）」		2010年12月16日	関西大学	関大社会安全学部・大学院社会安全研究科 第1回東京シンポジウム（関西大学東京センター）
「津波災害の減災～語り継ぐことの大切さ～」		2010年12月19日	日本災害情報学会他	TSUNAMI 防災シンポジウム（仙台市震災復興記念館 記念ホール）
「職員に必要な危機管理能力——豊岡市や兵庫県、豊岡河川国道事務所など——」		2010年12月24日	国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所	平成22年度防災研修会（アイティ7階多目的ホール）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤研究 (S)	代表	平成19～23年度	15,000 (78,400)	巨大複合災害とその減災戦略
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本災害情報学会会長 日本自然災害学会 (元会長) 理事・評議員 土木学会フェロー、論説委員 日本学術会議連携会員 アメリカ土木学会 (ASCE) 会員、アメリカ地球物理学連合 (AGU) 会員、国際水理学会 (IAHR) 会員				
(社会貢献活動) NPO 法人 大規模災害対策研究機構、理事長、継続 NPO 法人 環境防災総合政策研究機構、理事長、継続 NPO 法人 人・家・街 安全支援機構、理事長 土木学会、原子力土木委員会津波対策評価部会、委員、継続 三重県、伊勢湾台風50年記念誌策定委員会、委員長 三重県、第3次地震対策専門部会、部会長 三重県、三重県風水害等対策アクションプログラム検討専門部会、委員長 新潟県、防災立県戦略、顧問、継続 新潟県、新潟県中越地震義援金配分委員会、委員長、継続 兵庫県、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長、継続 兵庫県、兵庫県台風第9号災害検証委員会、委員長 兵庫県、ひょうご安全の日推進委員会、委員、企画委員会、委員長、継続 兵庫県、兵庫県防災会議地震対策計画専門委員会、副委員長、継続				

研 究 業 績

大阪府，大阪府都市型水害対策検討委員会，2010.3.29～，副委員長
大阪市，大阪港地震・津波対策連絡会議，アドバイザー，継続
奈良県，奈良県地震防災対策アクションプログラム推進委員会，委員長，継続
鳥取県，鳥取県政アドバイザースタッフ，継続
文部科学省，地震調査研究推進本部政策委員会，委員，継続
近畿地方整備局，京阪神都市圏広域防災拠点整備協議会，アドバイザー，継続
近畿地方整備局，臨海部広域津波対策ワーキンググループ，アドバイザー，継続
中部地方整備局，名古屋水防災情報共有推進連携会議，委員長
北海道開発局，津波検討委員会，委員長
内閣府，中央防災会議専門委員，継続
内閣府，大規模水害対策に関する専門調査会，副座長，継続
内閣府，地方都市における地震防災のあり方に関する専門調査会，座長
内閣府，総合科学技術会議 基本政策推進専門調査会 社会基盤PT，委員，継続

(その他業績として記載を希望する事項)

2010年土木学会出版文化賞受賞

2010年兵庫県社会賞受賞

■ 安部 誠治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 都市・過疎地域の活性化と交通の再生	編著	2010年9月	成山堂書店	香川正俊, 澤喜司郎, 安部誠治, 日比野正己編, 1-231頁.
(学術論文)				
(その他, 論考・研究資料等)				
新春論壇: 減車具体化へ正念場	単著	2010年1月1日	東京交通新聞社	東京交通新聞, 第一面
並行在来線「青い森鉄道」の展望	単著	2010年2月	国鉄労働組合	国労文化, No.495, 26-33頁
巻頭言: 交通基本法上程の動きに寄せて	単著	2010年3月	交通権学会	交通権, 第27号, 2-3頁
書評: 佐藤潤太著『鉄道事故と法』文芸社	単著	2010年3月	鉄道史学会	鉄道史学, 第27号, 33-35頁
安心・安全を求めて——社会安全学部・社会安全研究科の挑戦——	単著	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部 編『安全・安心を科学する』15-24頁
多発する自然・社会災害に備えを——「社会安全学」の構築が喫緊の課題——	単著	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部 編『安全・安心を科学する』29-32頁
対談: 大阪地域協議会・場外対談(前)	共著	2010年10月25日	交通界	週刊交通界, No.371, 30-36頁(町野勝康氏と対談)
対談: 大阪地域協議会・場外対談(後)	共著	2010年11月1・8日合併号	交通界	週刊交通界, No.372, 27-32頁(町野勝康氏と対談)
連載: 鉄道安全運行へ「共有」の発想を	単著	2010年2月17日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 待たれる交通基本法の成立	単著	2010年3月10日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 安全対策重点は踏切とホーム	単著	2010年4月3日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 安全システム 過度に依存するな	単著	2010年4月17日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 日本の交通事故死者の特徴	単著	2010年5月1日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: パロマ事故 集合住宅に多い理由	単著	2010年5月15日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 実効施策なく不正改造放置	単著	2010年5月29日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: ガス機器の現況 情報共有を	単著	2010年6月12日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 「経済災害」口蹄疫に取り組みを	単著	2010年6月26日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 事故の芽防ぐ日常的な安全確保	単著	2010年7月17日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 時代とともに事故原因も変遷	単著	2010年7月31日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 格安航空に負けず安全運航を	単著	2010年8月7日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 貸し切りバス指導強化	単著	2010年9月18日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 貸し切りバスの激安競争と安全	単著	2010年10月5日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 火災予防対策 一層の強化必要	単著	2010年11月2日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 考えよう人口減少時代の安全・安心	単著	2010年11月16日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 高齢者に安全な住まい 点検を	単著	2010年11月30日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 運輸事故の大半 システム性災害	単著	2010年12月14日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
連載: 航空事故調査委ができるまで	単著	2010年12月28日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版朝刊
企業文化の改革で再発防止を	単著	2010年12月24日	産経新聞社	産経新聞大阪本社版夕刊, 文化欄
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
(招待講演)				
日本における交通基本法制定の動き		2010年2月22日	韓国・交通開発研究院	交通基本法に関する検討会, 韓国ソウル特別市
安全・安心な交通運輸をめざして		2010年3月5日	JR西日本あんしん社会財団	安全セミナー～安全社会の構築に向けて～, 尼崎市
安全・安心の交通運輸産業をめざして		2010年3月9日	近畿交通共済協同組合	事故防止セミナー

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役 割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 公益事業学会 (理事), 日本交通学会 (評議員), 日本リスクマネジメント学会, 交通権学会 (理事), 鉄道史学会				
(社会貢献活動) NPO 鉄道安全推進会議副会長 (継続) 交通運輸政策研究会会長 (継続) 河内長野市国民保護協議会委員 (継続) 大阪タクシーセンター評議員 (継続) 近畿運輸局 大阪市域交通圏タクシー特定地域協議会委員 (継続) 東北運輸局 仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会 座長 (継続) 近畿運輸局 京都市域交通圏タクシー特定地域協議会委員 (継続) 運輸安全委員会「福知山線脱線事故調査報告書に関わる検証メンバー」座長 (継続) 大阪府電気自動車タクシー導入事業費補助金交付審査会委員長 (新規) 大阪府電気自動車 (EV) タクシー普及啓発事業・実施事業者選定委員会委員長 (新規) 大阪府地方独立行政法人評価委員会委員長 (新規)				
(その他業績として記載を希望する事項) 韓国 松又大学物流学部・鉄道大学院において鉄道事業iの関する集中講義 (2010年9月7日～10日)				

■ 小 澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する Steam Power Engineering (digitally printed version)	分担執筆 分担執筆	2010年4月 2010年5月	産経新聞出版 Cambridge University Press	関西大学社会安全学部編, 65-68 S. Ishigai ed., Chapetr 5 Flow Instability Problems in steam-generating tubes, 323-385
(学術論文) Heat transfer and flow pattern of boiling flow CO ₂ in mini-channels	共著	2010年2月	NEDO	2010 International Symposium on Next-generation Air Conditioning and Refrigeration Technology, GS13.1-8, T. Hara, T. Ami, H. Umekawa, R. Matsumoto, I. Ishihara
小口径管で発生するフラッディングに伴うドライアウトの予測	共著	2010年3月	日本混相流学会	混相流, Vol.23, No.5, 563-570, 西本貴晶, 網健行, 梅川尚嗣, 査読有
Critical heat flux induced by flow instability in boiling channels—a review	共著	2010年6月		Nuclear Safety and Simulation, Vol.1, No.2, 1-16, H. Umekawa, R. Matsumoto, T. Ami, 査読有
CHF in a non-uniform circumferential heating tube under low-pressure and low-mass-flux condition — Influence of the Heated Length —	共著	2010年6月		7th Int. Conf. on Multiphase Flow ICMF 2010, Tampa, FL., No. 16.7.2, 1-8, H. Umekawa, K. Hotta, T. Ami, K. Mishima, Y. Saito
Flow Boiling in Horizontal Minichannels: Flow Pattern of CO ₂ at High Pressure	共著	2010年6月		Multiphase Science and Technology, Vol.22, No.2, 115-132, H. Umekawa, T. Ami, R. Matsumoto, T. Hara, 査読有
Flow Pattern Transition and Related Heat transfer in an Annular Gap around a Truncated Conical Rotor in a Cylinder	共著	2010年8月	米国機械学会	14th Int. Heat Transfer Conf. (IHTC-14), No. IHTC14-22874, R. Matsumoto, 査読有
Flow pattern and boiling heat transfer of CO ₂ at high pressure in horizontal mini-channels	共著	2010年8月	米国機械学会	14th Int. Heat Transfer Conf. (IHTC-14), No. IHTC14-22560, T. Ami, N. Nakamura, H. Umekawa, M. Shoji, 査読有
(その他, 論考・研究資料等) 書評 “Steam/its generation and use” の120年に迷い込んで	単著	2010年3月	日本混相流学会	混相流, Vol.24, No.1, 94-101
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 「Steam」にみる経営・技術の思想	単独	2010年3月	日本機械学会関西支部	関西支部第85期定時総会講演会, No.3-3
排気再循環によるDMEの低Nox燃焼	共同	2010年3月	日本機械学会関西支部	関西支部第85期定時総会講演会, No.12-5
低圧・低質量流束条件下における周方向非均一加熱管の伝熱・流動特性	共同	2010年3月	日本機械学会関西支部	関西支部第85期定時総会講演会, No.12-14
らせん管内液体窒素沸騰二相流の伝熱・流動特性	共同	2010年3月	日本機械学会関西支部	関西支部第85期定時総会講演会, No.12-15
強せん断力場における液体窒素沸騰二相流の伝熱流動特性	共同	2010年3月	日本機械学会関西支部	関西支部第85期定時総会講演会, No.12-16
低圧・低質量流束条件下における周方向非均一加熱管の限界熱流束 — 加熱長さの影響	共同	2010年5月	日本伝熱学会	第47回日本伝熱シンポジウム, No. G222
小口径管におけるフラッディング(供試管材質の影響)	共同	2010年6月	日本機械学会	第15回動力・エネルギー技術シンポジウム, No. B208
管状火炎を用いた過熱蒸気発生器の開発	共同	2010年6月	日本機械学会	第15回動力・エネルギー技術シンポジウム, No. B215
らせん管内液体窒素沸騰二相流における伝熱・流動特性	共同	2010年7月	日本混相流学会	日本混相流学会年会講演会2010(浜松), No. C143

研 究 業 績

連続スラグ気泡の相互干渉に関する評価	共同	2010年7月	日本混相流学会	日本混相流学会年会講演会2010 (浜松), No. F312
管状火炎を用いた過熱蒸気発生器の開発	共同	2010年10月	日本機械学会	日本機械学会熱工学コンファレンス2010, No. G114
低圧・低質量流束条件下における周方向非均一加熱管の限界熱流束特性 — 高熱流束条件下での管傾斜の影響	共同	2010年10月	日本機械学会	日本機械学会熱工学コンファレンス2010, No. H132
流動層内における粒子対流熱伝達の評価 — 粒子径の影響 (招待講演)	共同	2010年10月	日本機械学会	日本機械学会熱工学コンファレンス2010, No. F231
Traveling Void Wave: A Pattern Dynamics Approach	単独	2010年9月	INSS	Symposium on Gas-Liquid Two-Phase Flow Dynamics
事故災害のリスクマネジメント	単独	2010年10月	日本冷凍空調学会	平成22年度若手技術者研修会
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費補助金 基盤 (B)	代表	2010-2012年	10,900円 (14,900円)	小型蒸気発生器における燃焼/水管内沸騰流の動的連成とシステムの安定化
関西大学学術研究助成 (共同研究)	分担	2009-2011年	447円 (2,000円)	強制流動沸騰系における内部流動構造定量評価に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
(社)日本機械学会 フェロー, 評議員, 関西支部商議員; 動力エネルギー国際会議 (ICOPE) 米国大会 日本機械学会代表 (社)日本伝熱学会 副会長 (社)日本原子力学会, (社)可視化情報学会, (社)エネルギー資源学会, (社)日本冷凍空調学会, (社)化学工学会, (社)日本工学アカデミー, 日本混相流学会, アメリカ機械学会 (ASME) 各正会員				
(社会貢献活動)				
日本学術振興会: 国際事業委員会書面審査委員 有限責任中間法人 DME 普及促進センター: DME 燃料利用設備導入促進補助金交付審査委員会委員長 (株)日本原子力研究開発機構: 安全委員会委員長代理 (株)日本原子力研究開発機構: 炉内中継装置等検討委員会 委員長代理				
(その他業績として記載を希望する事項)				
関西大学先端科学技術推進機構「組織事故低減のための安全システムデザイン」代表 (株)ヒラカワガイダム ボイラ便覧 編集委員長				

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 科学技術文明と安全 安全学の視座	単著 分担執筆	2010年4月 2010年4月	法蔵館 産経新聞社	『武田龍精博士退職記念論集：科学時代 における人間と宗教』 pp.151-168 関西大学社会安全学部編『安全・安心を 科学する』pp.25-28
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等) 科学技術文明と安全問題…絶えざる課題と しての全人・全生問題	単著	2010年3月	法蔵館	人間・科学・宗教 ORC 研究叢書9『核の 時代における宗教と平和…科学技術のゆ くえ』pp.288~310 (2005年12月14日の公 開講義内容に加筆したもの)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) 変わりつつある諸条件と新時代の安全マネ ジメント CAMP-ISIJ Vol.23 (2010) 1033 安全教育と新時代の安全マネジメント (1) リスク・ホメオスタシス CAMP-ISIJ Vol. 23 (2010) 1034	共同 共同	2010年9月26日 2010年9月26日	日本鉄鋼協会 日本鉄鋼協会	第160回秋季講演大会 (北海道大学) 第160回秋季講演大会 (北海道大学)
(招聘講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 (環境・エネルギー・社会工学部会：「新時代の安全マネジメント」フォーラム座長) 科学技術社会論学会 日本材料学会				
(社会貢献活動) 助生存科学研究所 評議員 NPO 法人 安全学研究所 理事				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 亀 井 克 之

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) (分担執筆)「複雑化する現代のリスク」	単著	2010年4月	産経新聞社	関西大学社会安全学部編『安全・安心を科学する』pp.37-40.
(学術論文) “A verbal rating scale to measure Japanese consumers' perceptions of productquality”	共著	1月	Emerald	Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics, Vol.22 No.2, pp.179-195.(査読あり) (第二執筆者として. 第一執筆者・Boris Bartikowski, 第三執筆者・Jean-Louis Chandon.) (本人担当箇所はアンケート項目の日本語部分)
“Pursuit of Opportunity and Business Incubation-A Case Study on Entrepreneurs at Kyoto Research Park”	単著	9月	Verlag KMU-HSG, Swiss Research Institute of Small Business and Entrepreneurship at the University of St. Gallen	Urs Fueglistaller, Thierry Volery and Walter Weber, Strategic Entrepreneurship-The Promise for Future Entrepreneurship, Family Business and SME Research?, Rencontre de St-Gall 2010, Topic B, Incubation and Startups, pp.1-17.(査読あり)
「企業におけるリスクマネジメント基本的概念 — 理論的枠組みと現代的課題」	単著	1月	運輸調査局	『運輸と経済』第70巻第1号, [特集]現代社会における交通企業の危機管理, pp.12-22.(査読なし)
“Tranmission des PME et Gestion des risques liés au managemant par la deuxième génération”	単著	5月	日仏経営学会	『日仏経営学会誌』第27号, pp.16-27.(査読なし)
「事業承継問題とソーシャル・リスクマネジメント — りそな銀行による事業承継支援事業について —」	単著	7月	ソーシャル・リスクマネジメント学会	『実践危機管理』第22号, pp.75-78.(査読なし)
「リスク情報の開示とワークライフ・バランス」	共著	7月	関西大学総合情報学部	『情報研究』第33号, pp.23-44.(査読なし) (第三執筆者として. 第一執筆者・周鵬宇, 第二執筆者・松野敬子.) (本人担当箇所は第1節と結論部分の修整ならびに全体的監修)
(その他, 論考・研究資料等) 「フランスワイン産業の危機とモンダヴィ事件 — ソーシャル・キャピタルの事例研究 —」	単著	3月	専修大学社会知性開発研究センター・社会関係資本研究センター	『社会関係資本研究センター年報』第1号, 2010年3月, pp.215-233.
書評・山口隆之著『中小企業の理論と政策 — フランスにみる潮流と課題 —』	単著	5月	日仏経営学会	『日仏経営学会誌』第27号, pp.89-94.
“Japan Risk Management Society”,	単著	12月	日本経済学会連合	Information Bulletin of The Union of National Economic Associations in Japan, No.30, pp.76-90
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 「同族老舗企業の事業承継問題とリスクマネジメント 甲州ワインの戦略」	単独	3月15日	日本リスクマネジメント学会	西日本部会, 沖縄大学
(学会における招待講演の通訳) オリビエ・トレス講演「EUにおける中小企業経営者のメンタルヘルス — AMAROKの活動を中心に」	共同	9月18日	日本リスクマネジメント学会	第34回全国大会, 関西大学・高槻ミューズキャンパス・社会安全学部 (共催・EUIJ 関西)

社会安全学研究 創刊号

(国際会議) “Pursuit of Opportunity and Business Incubation – A Case Study on Entrepreneurs at Kyoto Research Park”	単独	9月6日～8日	Swiss Research Institute of Small Business and Entrepreneurship at the University of St. Gallen	Rencontre de St-Gall 2010
(その他の口頭発表) 『ワイン・ウォーズ：モンダヴィ事件』からソーシャル・リスクマネジメントへ 「ソーシャル・リスクマネジメントの展開」 「フランスの公園・遊具と子どもの安全」	単独 単独 単独	1月27日 6月12日 7月12日	関西大学 関西大学・社会安全学部 関西大学 経済・政治研究所	関西大学記者懇談会 関西大学会館 常任理事会議室 社会安全学セミナー、関西大学・高槻ミューズキャンパス・社会安全学部 平成22年度第1回公開セミナー、関西大学・高槻ミューズキャンパス・社会安全学部
(招聘講演) 講演「リスクマネジメントの考え方」 講演「リスクマネジメントの考え方」 基調講演「事業承継とリスクマネジメント」 講演「リスクマネジメントと事業承継」	単独 単独 単独 単独	7月24日 9月14日 9月28日 11月16日	株式会社ウィルテック JA 大阪商工会議所・新淀川支部 茨木市税理士協会	株式会社ウィルテック・幹部研修会、新大阪ガーデンパレス JA コンプライアンス・トップセミナー、京都ホテルグランヴィア 大阪商工会議所・新淀川支部・淀川異業種研究会秋例会、大阪商工会議所新淀川支部 茨木市福祉会館
(講義) 「海外におけるリスクマネジメントの現状」 「危機管理に対するマネジメント」	単独 単独	7月31日 9月30日	大阪能率協会 大阪市教育委員会	第11回 RM 講座、大阪商工会議所 学校マネジメント研修会（基礎編）、大阪市教育センター
(司会)		12月1日	関西大学経済・政治研究所	第189回産業セミナー、関西大学高槻ミューズ・キャンパス、ミューズ・ホール
(シンポジウム・コーディネーター) 「事業承継とリスクマネジメント」	単独	10月14日	大阪商工会議所・新淀川支部	大阪商工会議所・新淀川支部・淀川異業種研究会秋例会、大阪商工会議所新淀川支部
(高大連携事業 講義) 「スポーツに学ぶ危機管理」 「危機管理とリーダーシップ」 「スポーツに学ぶ危機管理」 「スポーツに学ぶ危機管理」 「スポーツに学ぶ危機管理」		7月2日 8月23日 8月24日 9月25日 10月5日	関西大学高大連携事業、Kan-Dailセミナー 関西大学高大連携事業、Kan-Dailセミナー 関西大学高大連携事業、Kan-Dailセミナー 関西大学高大連携事業、Kan-Dailセミナー 関西大学高大連携事業、Kan-Dailセミナー	滋賀県立 水口高等学校 東大阪大学柏原高等学校 (会場：トーコシティホテル) 大阪府立 高槻北高等学校 奈良県立 橿原高等学校 滋賀県立東大津高等学校
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号：21530373 研究代表者 2009年～2011年	研究代表者	2009～2011	700 (1,900)	「老舗同族企業経営問題に関する日仏比較研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案」

研 究 業 績

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>日本リスクマネジメント学会 副理事長・事務局長 日本リスクマネジメント学会第34回全国大会実行委員長 日仏経営学会 常任理事 ファミリービジネス学会 理事 日本経済学会連合 評議員 日本経済学会連合 英文年報第30号 執筆委員 日本保険学会 会員 日本経営学会 会員 日本商品学会 会員 日本中小企業学会 会員 日本情報経営学会 会員 日本リスク研究学会</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスクコミュニケーション研究班主幹 関西6大学準硬式野球連盟会長 関西大学 体育会 準硬式野球部顧問 通訳案内業・フランス語 (大阪府登録第1139号)</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>『保険毎日新聞』2010年1月19日(火) 記事「『社会安全学部』新設」にコメント 『保険毎日新聞』2010年1月25日(月) 記事「事業承継問題に挑む」にコメント 『保険毎日新聞』2010年2月17日(水) 記事「中小企業経営者のメンタルヘルス 仏で支援機構が話題」にコメント 『産経新聞』2010年10月14日(木) 夕刊 記事「ソーシャルメディア・ガイドライン 企業や自治体で制定増加 リスク管理の切り札」にコメント 『保険毎日新聞』2010年10月12日(火) 記事「AMAROK JAPAN 設立 中小企業経営者の健康を調査、支援」監修 フランス Hérault Juridique & Economique 誌 2010年9月30日号, p.8 記事“L’Observatoire de la souffrance des dirigeants d’Olivier TORRES L’AMAROK essaime au Japon”作成に協力。(関西大学社会安全学部と日本リスクマネジメント学会第34回全国大会を紹介) 『AERA』2010年11月29日号記事「東西人気大学に異常あり」にコメント</p>

■ 高 鳥 毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 健康科学の史的展開	共著	2010年3月	日本放送出版協会	共著者 多田羅浩三, 担当部分116-226
(学術論文) 救急医療現場における薬物中毒者の実態 米国, イギリス, ドイツにおける結核医療 の提供体制	単著 単著	2010年2月 2010年2月	大阪府保険医協会 日本結核病学会	大阪保険医雑誌, 26-30 結核, 98-30
(その他, 論考・研究資料等) 公衆衛生の復権をめざして 結核を取り巻く諸問題と最新知識 ~見直 された結核対策と診断技術~ イングランドおよびウェールズにおける男 女別の骨粗鬆症性骨折リスクの予測: QFractureScoreの前向き調査による抽出と 評価検証 Predicting risk of osteoporotic fracture in men and women in England and Wales: prospective derivation and validation of QFractureScores BMJ. 2009 Nov 19; 339: b4229. doi: 10.1136/bmj.b4229 C反応性蛋白と冠動脈疾患, 脳卒中, 死亡 のリスクとの関連: 個々の患者データによ るメタアナリシス C-reactive protein concentration and risk of coronary heart disease, stroke, and mortality: an individual participant meta- analysis Lancet. 2009 Dec 21. 炎症性腸疾患のためにチオプリン系薬剤を 服用している患者におけるリンパ増殖性疾 患: 前向き観察コホート研究 Lymphoproliferative disorders in patients receiving thiopurines for inflammatory bowel disease: a prospective observational cohort study Lancet. 2009 Nov 7; 374 (9701): 1617-25. 乾癬および乾癬性関節炎の治療におけるエ タネルセプトの2通りの投与方式の比較: 無作為化二重盲検多施設共同のPRESTA 試験 Comparison of two etanercept regimens for treatment of psoriasis and psoriatic arthritis: PRESTA randomised double blind multicentre trial BMJ. 2010 Feb 2 340: c147. doi: 10.1136/bmj.c147. 現代遺伝学が行き詰まっているか, その答 えは「然り」である Is modern genetics a blind alley? Yes. BMJ. 2010 Mar 30; 340: c1156. doi: 10.1136/bmj.c1156. 乾癬に対する在宅における中波長紫外線治 療の費用効果: 無作為化対照試験 (PLUTO 試験) の経済的評価 Cost effectiveness of home ultraviolet B phototherapy for psoriasis: economic evaluation of a randomised controlled trial (PLUTO study) BMJ. 2010 Apr 20; 340: c1490. doi: 10.1136/bmj.c1490.	単著 単著 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修 翻訳監修	2010年1月 2010年6月 2010年1月 2010年2月 2010年3月 2010年4月 2010年5月 2010年6月	大阪府保険医協会 けんぽれん大阪連合 会 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団 大阪難病研究財団	大阪保険医新聞, 8-9 かけはし, 10-11 難病情報データベース 難病 Update 難病情報データベース 難病 Update 難病情報データベース 難病 Update 難病情報データベース 難病 Update 難病情報データベース 難病 Update

研 究 業 績

重症パーキンソン病に対する脳深部刺激療法と最適薬物療法の併用と最適薬物療法単独の比較 (PD SURG 試験) : 無作為化非盲検試験 Deep brain stimulation plus best medical therapy versus best medical therapy alone for advanced Parkinson's disease (PD SURG trial) : a randomised, open-label trial Lancet Neurol. 2010 Jun ; 9 (6) : 581-91.	翻訳監修	2010年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
高齢患者における displaced 型大腿骨頸部内側骨折に対する初回人工股関節全置換術と人工骨頭置換術の比較 : 系統的レビュー Primary total hip arthroplasty versus hemiarthroplasty for displaced intracapsular hip fractures in older patients: systematic review BMJ. 2010 Jun 11; 340: c2332. doi: 10.1136/bmj.c2332.	翻訳監修	2010年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
炎症性腸疾患が疑われる患者のスクリーニングに対する便中カルプロテクチンの使用 : 診断法のメタアナリシス研究 Faecal calprotectin for screening of patients with suspected inflammatory bowel disease: diagnostic meta-analysis BMJ. 2010 Jul 15; 341: c3369. doi: 10.1136/bmj.c3369.	翻訳監修	2010年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
脳磁気共鳴画像における白質高信号病変の臨床的重要性 : 系統的レビューとメタ解析 The clinical importance of white matter hyperintensities on brain magnetic resonance imaging: systematic review and meta-analysis BMJ. 2010 Jul 26; 341: c3666. doi: 10.1136/bmj.c3666.	翻訳監修	2010年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
股関節または膝の変形性関節症患者に対するグルコサミン, コンドロイチン, またはプラセボの治療効果の評価 : ネットワークメタ解析 Effects of glucosamine, chondroitin, or placebo in patients with osteoarthritis of hip or knee: network meta-analysis BMJ. 2010 Sep 16; 341: c4675. doi: 10.1136/bmj.c4675.	翻訳監修	2010年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
ベルギー・フランドル地方の医療現場における安楽死の報告状況 : 報告症例と報告されなかった症例の横断的調査分析 Reporting of euthanasia in medical practice in Flanders, Belgium: cross sectional analysis of reported and unreported cases BMJ. 2010 Oct 5 ; 341: c5174. doi : 10.1136/bmj.c5174.	翻訳監修	2010年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 多文化共生社会ニューヨーク市の結核の地域マネジメントシステム	単独	2010年5月	日本結核病学会	第85回日本結核病学会総会, 京都
低蔓延時代の結核対策を支える保健医療基盤の検討	単独	2010年10月	日本公衆衛生学会	第69回日本公衆衛生学会総会, 東京
(招待講演) 安全・安心の科学 ― 文理融合教育の実験―	単独	2010年5月22日	千里阪急ホテル	大阪大学大学院医学系研究科環境医学講座同窓会
学校における健康危機管理の課題について	単独	2010年7月7日	大阪府教育会館	大阪府学校保健主管課長会総会

社会安全学研究 創刊号

わが国の感染症の政策	単独	2010年7月14日	京都大学大学院医学研究科	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座社会疫学分野
関西圏における健康格差と社会的疎外	単独	2010年7月22日	大阪大学医学部銀杏会館	大阪大学大学院医学系研究科国際シンポジウム：The Osaka public health symposium: social determinants of health in Japan
地域医療と在宅ケア	単独	2010年7月22日	大阪府看護協会桃谷センター	大阪府看護協会 訪問看護研修
ハンセン病と結核病 — その対策の経験と教訓から —	単独	2010年9月12日	キャンパスプラザ京都	大学コンソーシアム京都プラザ科目『エイズと社会』
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
基盤研究 (C)	代表	2009～2012	1040 (3,060)	低まん延下における結核の保健医療システムに構築に関する研究
厚生労働科学研究費補助金	分担	2008～2010	650 (1,500)	輸入感染症としての多剤耐性結核の対策・制御に関する研究
基盤研究 (S)	分担	2010～2014	550 (1,500)	食品リスク認知とリスクコミュニケーション、食農倫理とプロフェッションの確立
基盤研究 (C)	分担	2010～2013	50 (150)	ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究
JSPS	共同	2010～2011	0	健康の社会決定要因に関する日英比較研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公衆衛生学会 (評議員, 編集委員会委員)				
日本結核病学会 (評議員, 将来計画委員会委員)				
日本社会医学学会 (理事)				
日本疫学学会 (会員)				
(社会貢献活動)				
独立行政法人日本学術振興会・科学研究費委員会・専門委員				
放送大学・客員教授 (担当科目: 健康科学の史的展開)				
大阪大学大学院医学系研究科・招聘教授 (担当科目: 健康政策総論, 健康政策各論)				
京都大学大学院医学研究科・非常勤講師 (環境科学)				
大阪府医師会・調査委員会・委員				
大阪府教育委員会事務局・学校保健技師 (非常勤嘱託員)				
大阪府教育委員会・大阪府立学校職員健康審査会・常任委員				
大阪府教育委員会・大阪府公立学校結核対策委員会・委員				
大阪市保健所・大阪市結核対策評価委員会・委員				
東大阪市西保健センター結核療養相談 (非常勤医師)				
東大阪市保健所・東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員				
大阪府岸和田保健所・結核患者の治療成績評価会・外部評価委員				
高槻市保健所・結核患者予防可能症例検討会・外部評価委員				
社会福祉法人大阪社会医療センター付属病院・呼吸器科医師 (非常勤)				
株式会社医学書院・雑誌公衆衛生・編集委員				
財団法人大阪公衆衛生協会・保健計画部会・会長				
NPO・ヘルスサポート大阪・常任理事				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研究業績

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) TSUNAMI To Survive from Tsunami	分担執筆	2010年1月	World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd.	Susumu Murata, 他19名, pp.200-202
安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版社	関西大学社会安全学部編著, pp.93-96
(学術論文) カルマン渦列を利用した小型水力発電装置の開発と基礎的検討	共著	2010年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.66, No.1, pp.1286-1290, 朝倉壘・高橋智幸(査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 予測精度向上目指し	単独	2010年7月	日本地震学会	なるみふる, pp.4-5
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 流力振動を用いた小型水力発電に関する実験と数値計算	共同	2010年3月6日	土木学会	東北支部技術研究発表会, 郡山市
Modeling of the sediment transport by the 2004 Sumatra-Andaman tsunami in Lhoknga, Banda Aceh, Indonesia	共同	2010年4月10日	Tohoku University	The 3rd International Tsunami Field Symposium, 仙台市
2010年チリ中部地震津波の日本沿岸における緊急調査結果	共同	2010年5月23日	日本地球惑星科学連合	2010年大会, 千葉市
Comparison of Tsunami height Distributions of the 1960 and the 2010 Chilean Earthquakes on the Coasts of the Japanese Islands	共同	2010年12月14日	American Geophysical Union	2010 AGU Fall Meeting, サンフランシスコ
(招待講演) 津波および洪水による被害の実際と今後の防災	単独	2010年1月14日	秋田県	平成21年度第2回危機管理専門研修, 湯上市
津波による被害の実際とその解析	単独	2010年5月31日	大規模災害対策研究機構	大規模災害対策研究機構理事会及び総会, 大阪市
津波被害の実際と防災上の課題	単独	2010年6月29日	三重県	三重県防災会議, 津市
津波防災の現状と残された課題	単独	2010年10月14日	沿岸技術研究センター	沿岸技術研究センター講演会 in Kobe, 神戸市
津波	単独	2010年11月1日	東京都市大学	特別講座(原子力耐震工学), 東京都
洪水被害の実際と日頃の備え～敵を知り, 己を知らば, 百戦危うからず～	単独	2010年11月5日	京都中部広域消防組合	京都中部広域消防組合防災講演会, 亀岡市
津波	単独	2010年12月2日	大規模災害対策研究機構	第5回大規模災害セミナー, 高槻市
実際の津波災害から今後の津波防災を考える	単独	2010年12月18日	東海防衛支局	第14回近畿中部防衛局防衛問題セミナー, 四日市市
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 独立行政法人原子力安全基盤機構委託業務	研究代表者	2009～2011年	9,990 (66,181)	土砂移動解析手法の高度化
文部科学省次世代スーパーコンピュータ戦略プログラム	事業協力者	2010～2015年	0 (87,500)	防災・減災に資する地球変動予測
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	連携研究者	2010～2013年	0 (20,800)	ミレニアム津波ハザードの総合的リスクと被災後の回復過程の評価
文部科学省科学研究費補助金・特別研究促進費	研究分担者	2010～2011年	950 (48,900)	2011年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査

以下、フリー記入
(所属学会) 土木学会, 原子力土木委員会津波評価部会委員 土木学会, 地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会委員 土木学会, 海岸工学委員会委員 土木学会, 海洋開発委員会海洋開発論文集査読小委員会委員 日本災害情報学会, 大会実行委員会委員長 日本自然災害情報学会, 編集委員会委員
(社会貢献活動) 内閣府, 原子力安全委員会専門委員 経済産業省, 原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会臨時委員 経済産業省, 原子力安全・保安院総合資源エネルギー調査会耐震・構造設計小委員会委員 独立行政法人原子力安全基盤機構, 震動・津波ハザード評価検討会委員 国土交通省, 東北地方整備局リバーカウンセラー 国土交通省, 東北地方整備局河川水辺の国勢調査アドバイザー 特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構理事 財団法人防災研究協会, 非常勤研究員
(その他業績として記載を希望する事項) 2010年5月28日に土木学会より平成21年度土木学会出版文化賞を受賞

研 究 業 績

■ 土 田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) リスク心理学の課題と展望	分担	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部(編)『安全・安心を科学する』pp.41-44.
(学術論文) Researches at the Society for Risk Analysis, Japan 大韓民国におけるBSE騒動と国民の食品安全意識	単著 共著	2010年3月 2010年3月	日本リスク研究学会 関西大学経済・政治研究所	日本リスク研究学会誌:第20巻,第1号:pp.9-14.(査読有) 調査と資料(関西大学経済・政治研究所),第107号「現代社会における人間関係とリスク」:pp.1-35.(辻川典文・塩谷尚正と共著)
「商品先物取引」被害者にみる被勧誘と「信頼」の事例	単著	2010年3月	関西大学大学院心理学研究科	関西大学心理学研究:第1号,pp.25-40.
(その他,論考・研究資料等) 高槻ミュージックキャンパスの魅力	単著	2010年8月	関西大学教育後援会	華:No.146:pp.18-19.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称,場所
(学会発表) 高齢者間の会話と趣味活動を動機づける心理的要因—施設高齢者と地域高齢者と比較して—	共同	2010年9月18日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第51回大会,広島大学(小池美美代と連名)
内集団実体性がリスク施設への態度に与える影響	共同	2010年9月21日	日本心理学会	日本心理学会第74回大会,大阪大学(塩谷尚正と連名)
(招待講演) Risk Psychology as a Risk Analysis 人のリスク認知のメカニズム	単独 単独	2010年3月10日 2010年7月30日	Nanjing University 関西大学社会安全学部 関西大学先端科学技術推進機構	Nanjing University (Nanjing, China) 第4回社会安全学セミナー(関西大学ミュージックキャンパス [大阪府高槻市])
リスクコミュニケーションの心理学	単独	2010年11月5日	財電力中央研究所	電磁界情報交換会(電力中央研究所 [千葉県我孫子市])
リスクコミュニケーションの心理学	単独	2010年11月8日	財電力中央研究所	電磁界情報交換会(大阪科学技術センター [大阪府大阪市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 関西大学 教育促進費	代表	2010年~2011年	3,000 (3,000)	英語によるコミュニケーション力向上のためのプログラムにかかる「パイロット授業」の実施
以下,フリー記入				
(所属学会) 日本リスク研究学会(常任理事,事務局長) The Society for Risk Analysis 日本社会心理学会 日本リスクマネジメント学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本心理学会 日本行動計量学会 法と心理学会 日本原子力学会 日本消費者行動研究学会(副会長,エリアエディター)				

(社会貢献活動)

公益財団法人JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員 (継続)

(財)電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員 (継続)

(財)電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー (継続)

(財)大阪科学技術センター, 「電磁界調査研究委員会」委員 (継続)

(社)日本原子力学会, 平成21年度「マスメディア報道と原子力世論に関するデータベース構築と拡充」特別専門委員会委員 (新規)

みずほ情報総研株式会社, 「原子力意識動向調査にかかる有識者会議」委員 (新規)

(その他業績として記載を希望する事項)

第3回電磁界フォーラム (東京): 「パネルディスカッション」司会者, 2010年5月20日, 電磁界情報センター主催 [日本科学未来館 (東京都江東区)]

第3回電磁界フォーラム (大阪): 「パネルディスカッション」司会者, 2010年6月3日, 電磁界情報センター主催 [茨城市福祉文化会館 (大阪府茨木市)]

研 究 業 績

■ 西 村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文) 地球環境問題と交通における自由—「将来世代への責務」はあるのか?—	単著	2010年3月	日本交通学会	『交通学研究/2009年研究年報』pp.19-28
21世紀の都市と交通—ソウルの都市戦略と都市交通	単著	2010年3月	大阪市立大学経営学研究科	『大阪市立大学都市問題研究プロジェクト 平成21(2009)年度報告書』pp.114-131
地球環境問題と物流:課題と展望	単著	2010年8月	大阪市立大学経営学会	『経営研究』第61巻第2号, pp.1-17
(その他, 論考・研究資料等) 費用便益分析の使われ方	単著	2010年6月	高速道路調査会	『高速道路と自動車』第53巻第6号, pp.5-8
交通基本法への期待	単著	2010年7月	あおぞら財団	『リベラ』第115号, pp.2-3
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(口頭発表) 費用便益分析の使われ方—道路国会後のマニュアル改定を中心に	単独	2010年7月	交通権学会	交通権学会第25回研究大会, 日本大学
(招聘講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会(理事), 日本海運経済学会(理事), 日本港湾経済学会(評議員), 交通権学会(理事), 公益事業学会(監事), 日本環境会議(理事)				
(社会貢献活動) 財団法人公害地域再生センター(通称:あおぞら財団)評議員				
(その他業績として記載を希望する事項)				

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版	編者関西大学社会安全学部 (単著: 45~48頁)
(学術論文) 感情状態が商品広告の情報処理方略に及ぼす影響について — 情報の多重役割を中心に —	共著	2010年12月	人間環境学学会	人間環境学研究, 8巻2号, pp.123-132 (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 開発途上国における環境教育のためのゲーミングの開発と普及のための調査研究	共著	2010年3月		財団法人科学技術融合振興財団委託研究成果報告書, P1-185.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(口頭発表) 2. Effects of value similarity and procedural fairness on social acceptance: a case study of tram system in Nuess	共同	2010年6月29日	IAPS	IAPS2010年度国際学会 Leiptig, Germany.
1. 環境配慮行動の心理学的規定因とその応用	単独	2010年9月16日	環境科学学会	平成22年度環境科学学会大会 東洋大学
(招聘講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2008年~2010年	4,680円 (16,510円)	市民参加による環境計画における手続き的公正と信頼に関する日欧比較調査研究
環境省科学研究費補助金・循環型社会形成推進費	分担	2009年~2011年	500円 (4,000円)	廃棄物発生抑制行動を推進する心理要因の構造化と市民協働プログラムの実践
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会理事				
(社会貢献活動) 三重県, ごみゼロプラン推進委員会委員長, 2005年~現在 名古屋市, 交通門再専門委員会第3専門部会委員長, 2005年~現在 多治見市, 廃棄物減量推進審議会, 委員長, 2005年~現在				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文) A Method for Classification of Decision- Making Units Using DEA and Inverted DEA with Scale Efficiency	共著	2010年3月	関西大学	関西大学理工学研究報告52(2010), 83-91
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) 動画検索サイトにおけるレコメンデーション 手法の一提案	共同	2010年3月	日本オペレーションズ・リサーチ学会	日本オペレーションズ・リサーチ学会春 季研究発表会アブストラクト集, 2-B-1 (2010), 136-137.
重回帰分析と数理計画法による瀬田川洗堰 の放流量操作モデル	共同	2010年10月	日本経営工学会	日本経営工学会秋季研究大会予稿集, D21(2010), 212-213.
日用品ID付POSデータの解析(中間報告)	共同	2010年11月	日本マーケティング サイエンス学会	日本マーケティングサイエンス学会ID付 POSデータ活用研究部会
(招聘講演)				
資金制度・研究費名	役 割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 関西支部 運営委員 日本経営工学会 システム制御情報学会				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編, pp.69-72を担当
(学術論文) Relation between segregation patterns and granular flow modes in conical rotating drum	共著	2010年	Elsevier	Flow Measurement and Instrumentation, Vol.21, pp.207-211 (査読有)
MRI measurement of granular flows and fluid-particle flows	単著	2010年	Elsevier	Advanced Powder Technology, Vol.21, pp.235-241 (査読有)
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 粒子流のDEM計算における液輸送モデル の開発	共同	2010年3月16日	日本機械学会関西支部	第85期定時総会講演会, 於: 神戸大学
IB-DEM-CFDカップリング法による石炭 ガス化炉の流動解析	共同	2010年3月15日	日本機械学会関西支部	平成21年度卒業研究発表講演会, 於: 神戸大学
流動層内粒子の温度場と速度場の同時計測	共同	2010年5月25日	粉体工学会	2010年度春期研究発表会, 於: 京大会館
離散要素法によるA粒子流動層の数値シミュレーション— 2次元モデルシミュレーションと実験の比較—	共同	2010年5月26日	粉体工学会	2010年度春期研究発表会, 於: 京大会館
2次元流動層における粒子対流挙動のPTV計測	共同	2010年6月21日	日本機械学会動力・エネルギー部門	第15回動力・エネルギー技術シンポジウム, 於: 早稲田大学
2次元流動層における粒子対流拡散挙動のPTV計測	共同	2010年7月19日	日本混相流学会	年会講演会2010, 於: 静岡大学
高濃度固液混相流の液体速度のMRI計測	共同	2010年9月8日	日本機械学会	2010年度年次大会, 於: 名古屋工業大学
A粒子流動層のDEM-CFDカップリングシミュレーションのための動的付着力モデル	共同	2010年12月6日	化学工学会粒子・流体プロセス部会	第16回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
(招待講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2010~2012年	500 (3,100)	土石流発生時における危険区域予測システムの開発に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会, 和文誌編集委員会委員, 英文誌編集委員会委員 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 明石市民まつり検証・創造会議, 委員長, 2010年7月~現在				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 越 山 健 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞社	関西大学社会安全学部編、「21世紀の都市防災対策の構築」, pp.85-88
(学術論文) 国勢調査データを用いた阪神・淡路大震災大都市部被災地の住宅復興過程に関する分析	単著	2010年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集, No.13, pp.167-174, 査読有
首都直下地震における公的住宅必要量の算定	単著	2010年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集, pp.59-62
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(口頭発表) The transformation of urban housing environment in the post Hanshin-Awaji Earthquake	単独	2010年3月28日	都市安全の高度化に関する国際シンポジウム実行委員会	都市安全の高度化に関する国際シンポジウム, 神戸学院大学
近年の地方自治体の災害対策本部運営状況に関する調査報告	単独	2010年10月	日本災害情報学会	日本災害情報学会第12回研究発表大会, 関西大学, 研究発表大会予稿集 pp.119-124
震災後の激甚被災地における住宅ストック変化の統計的分析	単独	2010年10月	日本災害復興学会	日本災害復興学会2010神戸大会, 神戸大学, 講演論文集 pp.87-90
(招聘講演) 地震災害の可能性と地域の防災の姿	単独	2010年3月29日	高槻市建設部土木室	高槻市防災公園オープンイベント, 大阪府高槻市
これからの地域防災 ― 変化する防災の姿 ―	単独	2010年6月1日	摂津市消防本部	摂津市防災講演会, 大阪府摂津市
自治体の危機管理	単独	2010年7月21日	明石市	明石市 安全・安心のまちづくり講演会, 兵庫県明石市
地方自治体の復旧・復興業務の基礎知識	単独	2010年10月19日	内閣府	復興対策普及・啓発セミナー広島セミナー, 広島県呉市
危機管理総論	単独	2010年6月17日	人と防災未来センター	災害対策専門研修マネジメントコースベーシック, 兵庫県神戸市
未来都市に潜む危険性	単独	2010年6月10日	大阪国際見本市委員会	第5回「地域防災防犯展」大阪, 大阪府大阪市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省首都直下地震防災・減災プロジェクト 3. 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究	研究分担者	2007-2011年度	1,500 (8,100)	生活基盤としてのすまいの復旧・復興戦略に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 地域安全学会, 日本都市計画学会(学術委員会委員), 日本建築学会(都市防災マネジメント小委員会委員), 日本災害情報学会, 都市住宅学会, 日本災害復興学会, 日本自治体危機管理学会				
(社会貢献活動) 内閣府「地方公共団体における復興事前対策の推進に関する有識者意見交換会」委員 大阪府守口市総合基本計画審議会 委員 大阪府住宅建築物耐震10ヵ年戦略プラン中間検証ワーキンググループ委員会 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 神戸新聞「大震災 震度6強以上の地域 5年内住民半数移動」2010年10月18日				

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 地域社会の「回復力」に注目	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版社	関西大学社会安全学部(編)『安全・安心を科学する』pp.105-108
(学術論文) 災害ボランティアと地域防災——「受援力」「回復力」を引き出していくために	単著	2010年3月	消防科学総合センター	『消防科学と情報』No.100, pp.53-57 (査読なし)
災害とボランティア——阪神・淡路大震災から15年が経過して	単著	2010年7月	鉄道弘済会	『社会福祉研究』第108号, pp.2-10 (査読なし)
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 大規模事故発生時に救援活動等に参加した市民に対する直後から必要なストレスケア：2005年JR福知山線脱線事故の事例分析から	共同	2010年10月23日	日本災害情報学会	災害情報学会第12回学会大会 於関西大学社会安全学部
(招待講演) 災害ボランティアセンターを振り返る(グループワークファシリテーター)	単独	2010年5月3日	佐用町社会福祉協議会	佐用町社会福祉協議会災研修会 於佐用町社会福祉協議会
地域で助け合う——災害時に強い地域づくり(分科会ファシリテーター)	共同	2010年7月2日	兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ	ひょうごボランティアネットワーク会議 於ひょうごボランティアプラザ
避難所にどう関われるか(ワークショップ：避難所運営ゲーム)	単独	2010年8月25日	西成区女性学級	西成区女性学級学習会(第3回) 於西成区役所
災害と市民活動——“助け合い”の新しい形	単独	2010年10月2日	関西大学(高槻市連携事業)	平成22年度関西大学公開講座(高槻市)後期講座「豊かな市民生活とは」 於高槻市立生涯学習センター
災害時のボランティア活動(パネルディスカッション コーディネーター)	単独、共同	2010年10月8日	滋賀県社会福祉協議会	第5回滋賀県災害ボランティアコーディネーター養成研修 於滋賀県社会福祉協議会
減災とコミュニケーション(ワークショップ：防災クロスロード)	単独	2010年11月28日	高槻市	平成22年度高槻市防災指導員講習(第4回) 於高槻市役所
「減災」を組み込んだまちづくり——上町断層帯直上での取り組み事例より	講師	2010年12月11日	高槻市	平成22年度市内5大学連携市民講座(地域と大学が連携したまちづくり) 於高槻市総合市民交流センター
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費(期間全体の額)(単位：千円)	研究テーマ
(競争的資金) 財団法人西日本あんしん社会財団 研究助成	研究代表者	2010年度	2,000	大規模交通災害現場において救助活動に参加した市民の惨事ストレスに関する実態調査並びにケアツールの開発
文部科学省科学研究費 若手B	研究代表者	2008年度～2010年度	500(2,340)	減災に資する「共同性」の再構築に向けて：課題解決を目指す社会学的研究の試み
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、地域社会学会、日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会、日本災害情報学会、自然災害学会、地域安全学会 グループダイナミクス学会				
(社会貢献活動) 第4次芦屋市総合計画審議会 委員(平成22年度) 佐用町台風9号災害検証委員会 検証委員(平成22年度) 内閣府「防災ボランティア活動検討会」有識者メンバー(平成16年度～現在に至る) 内閣府「防災ボランティア活動の広域連携に関する意見交換」有識者メンバー(平成22年度)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 高 野 一 彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) アカデミア叢書10 企業と法を見る目に確かさを	共著	2010年3月	成文堂	吉川吉衛・大谷秀幸・高野一彦・小滝晃・吉田良夫著. 私は、第3章「教育・介護などのベネッセの取り組み」(pp.79-104)を担当した.
安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編著. 私は、「コンプライアンスと社会安全」(pp.33-36)を担当した.
プライバシー・個人情報保護の新課題	共著	2010年4月	商事法務	堀部政男編著・鈴木正朝・岡村久道・石井夏生利・高野一彦・新保史生・小向太郎・松前恵環著. 私は、第5章「従業員の監視とプライバシー保護」(pp.163-191)を担当した.
(学術論文) 従業員の監視とプライバシー保護	単著	2010年3月	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会誌 第17号, pp.209-222 (査読あり)
(その他、論考・研究資料等) 最前線から見た内部統制と文書管理のかたち	対談	2010年3月	NTT出版	デジタル・フォレンジック研究会監修、町村泰貴・小向太郎編著『実践的eデイスカバリー-米国民事訴訟に備える』, pp.168-181所収 (小向太郎・高野一彦対談)
ベネッセのCSRと人財の多様性	単著	2010年4月	経営倫理実践研究センター	2009年度CSR部会活動報告—CSRの本質と企業事例研究—, pp.81-90
名古屋商科大学大学院における経営倫理関連の講義について	単著	2010年7月	経営倫理実践研究センター	経営倫理59号, pp.27-30
共通番号制導入と新たなプライバシー保護法制の提言	単著	2010年10月	日本経営倫理学会	第18回研究発表大会予稿集, pp.116-119
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 企業のコンプライアンス活動の現状と課題	単独	2010年6月12日	関西大学社会安全学部	第2回社会安全学セミナー、於関西大学
企業のコンプライアンス活動の現状と課題	単独	2010年7月4日	企業法学会	第36回定時総会・研究発表会、於茗溪会館
企業による従業員の監視と解雇	単独	2010年7月15日	日本経営倫理学会	関西地区研究会部、於大阪商工会館
共通番号制導入と新たなプライバシー保護法制の提言	単独	2010年10月16日	日本経営倫理学会	第18回研究発表大会、於上智大学
(招待講演) 従業員の監視とプライバシー保護 — 監視機器により収集される情報の取扱い方 —		2010年6月10日	大阪国際見本市委員会	第4回「地域防災防犯展」大阪、於インテックス大阪
コンプライアンス推進担当者としての心構え — ノヴァ事件をケースとして —		2010年7月27日	大阪ガス株式会社	大阪ガス「コンプライアンス推進担当者パワーアップ講座」第1回、有識者による推進担当者向け講演会での招聘講演
企業における情報管理の留意点 — 情報法をめぐる最新動向とコンプライアンス —		2010年11月15日	中外製薬株式会社	中外製薬、コンプライアンス委員会での招聘講演
コンプライアンスと組織管理 — ノヴァ事件とネガティブ情報収集の仕組み —		2010年12月10日	中部電力株式会社	中部電力、平成22年度組織向上研修での招聘講師
企業の不祥事とコンプライアンス体制		2010年12月16日	関西大学社会安全学部・大学院社内安全研究科	第1回東京シンポジウム、於関西大学東京センター

社会安全学研究 創刊号

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 株式会社ベネッセコーポレーション研究助成	研究代表者	平成22年度	3,800 (3,800)	共通番号制導入に伴う新たな個人情報・プライバシー保護法制の研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本リスクマネジメント学会(評議員・事務局長代理)、日本経営倫理学会、 情報ネットワーク法学会、法とコンピュータ学会、企業法学会				
(社会貢献活動) 経営倫理実践研究センター フェロー、「コンプライアンス担当者の為の法令研究会」主催 2010年4月1日～現在 経済産業省 製品安全広報検討委員会 委員長 2010年8月27日～現在 堀部政男情報法研究会 理事 2010年4月1日～現在)				
(その他業績として記載を希望する事項) 名古屋商科大学大学院 客員教授 2010年4月1日～ 現在、三重銀行冠講座「経営法学と企業活動」を含む3講座を担当 昭和女子大学 非常勤講師 2010年4月1日～ 現在、「情報技術と倫理」を担当 千葉商科大学 外来講師 2009年4月1日～2011年3月31日、オムニバス講座「ビジネス論理」を担当(年間6回)				

研究業績

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文)				
ローカルオプティマムの先行事例としての消防防災行政—消防におけるポスト・ローカルオプティマム—	単著	2010年3月	武蔵野大学政治経済学部	武蔵野大学政治経済学部紀要 第2号 pp.55~75
アニメの「聖地巡礼」を活用した地域活性化についての一考察	単著	2010年4月	武蔵野大学政治経済研究所	武蔵野大学政治経済研究所年報 第2号 pp.53~75
消防組織の防犯活動への活用可能性についての調査研究—消防団活動の多様化はどこまで可能か?—	単著	2010年11月	財団法人社会安全研究財団	財団法人社会安全研究財団研究助成報告書 pp.1~73
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
消防防災行政における専門知—専門知の偏在は政府関係まで規定するのか?	単独	2010年5月22日	日本行政学会	2010年度日本行政学会研究会、於日本大学法学部
(招待講演)				
消防の広域再編の現状と課題	単独	2010年1月15日	茨城県	消防の広域化に関する講演会、於茨城県庁
地方自治制度	単独	2010年6月1, 29日	千葉県長生郡市広域市町村圏組合	初級職員研修、於千葉県長生郡市広域市町村圏組合
政策ディベートとは	単独	2010年7月15, 22日	千葉県	市町村職員研修、於千葉県自治研修センター
日本の消防行政の現状と課題	単独	2010年9月21日	台湾成功大学	国立台湾成功大学社会科学院政治学系主任研修、於茨城県自治研修所
政策ディベートとは	単独	2010年10月6, 19日	茨城県	
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
2009年度財団法人社会安全研究財団研究助成 一般研究助成	研究代表(単独)	2009年9月~2010年10月	2,250	消防組織の防犯活動への活用可能性についての調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会、日本公共政策学会、日本政治学会、日本地域政策学会(理事)、日本法政学会、日本オンブズマン学会				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
(学術論文) 首都直下地震からの経済復興シナリオ作成の試み	共著	2010.9	内閣府経済社会総合研究所	ESRI Discussion Paper Series, No.250, 1-33.
(その他、論考・研究資料等) 阪神・淡路大震災15周年に思う	単著	2010.1	ひょうご経済研究所	ひょうご経済, No.105, 32-33.
巨大災害からの地域経済の復興：「弁当プロジェクト」について	単著	2010.7	消防科学総合センター	消防科学と情報, No.101, 22-26.
地域防災計画の評価とその課題——兵庫県明石市における取り組み——	共著	2010.10	行政管理研究センター	評価クオーターリー, No.15, 32-43.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) The “BENTO” (Lunch Box) Project: An alternative Cash for Work (CFW)?	単著	2010.6	Grobal Risk Forum	“International Disaster and Risk Conference (IDRC), Davos, Switzerland.
Economic scenario planning after Tokyo metropolitan earthquake	共著	2010.6	Grobal Risk Forum	“International Disaster and Risk Conference (IDRC), Davos, Switzerland.
(招待講演) 災害からの復興：経済復興を中心に 防災対策から減災政策へ～地域防災の課題～ 経済の再建	単著 単著 単著	2010.1.31 2010.02.22 2010.2.26	芦屋市 熊本大学工学部 京都大学防災研究所	芦屋市防災士講座, 芦屋市 安全・安心科学技術プロジェクト公開研究会, 熊本市 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト報告会, 東京都千代田区
地域防災計画論	単著	2010.6.16	人と防災未来センター	災害対策専門研修, 神戸市
「経済災害」としての口蹄疫	単著	2010.6.19	関西大学社会安全学部	緊急シンポジウム「2010年宮崎県口蹄疫災害を考える：「経済災害」と社会の安全」, 大阪府高槻市
BCP、災害の危機管理としなやかな社会	単著	2010.6.25	日本地すべり学会関西支部	シンポジウム「政権交代と地すべり防災」, 大阪市
地震災害と地域経済	単著	2010.9.3	福岡県	福岡県防災講演会, 福岡市
巨大災害に打ち勝つ大阪経済の戦略とは	単著	2010.9.16	大阪科学技術センター	企業地域防災研究会, 大阪市
大阪府下の巨大地震災害と事業継続の課題	単著	2010.10.24	大阪府工業協会	大阪工業経営研究会, 大阪市
組合が地域を守る！小千谷・柏崎「弁当プロジェクト」の経験から	単著	2010.11.14	新潟県鮮魚商協同組合連合会	全国鮮魚商協同組合青年部全国大会, 新潟市
地域防災計画の評価とその課題——兵庫県明石市における取り組み——	共著	2010.12.4	日本公共政策学会関西支部	日本公共政策学会関西支部定例研究会, 高槻市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 国土政策関係研究支援事業	分担	2010年度	1,300 (1,300)	災害に強い国土の形成に向けた大都市圏政策のあり方に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会 日本計画行政学会 日本経済学会 日本自治体危機管理学会 地域安全学会 日本自然災害学会 日本リスク研究学会				

研 究 業 績

(社会貢献活動) 明石市地域防災計画第三者評価委員会 委員長 明石市国民保護協議会委員 次期神戸市消防基本計画策定委員会委員
(その他業績として記載を希望する事項) 内閣府経済社会総合研究所 「持続可能な防災・減災政策のあり方に関する研究」研究会座長 (4月～) 村尾育英会学術奨励賞受賞 (3月) 宮崎県口蹄疫災害に関する現地調査 (8月および12月)

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) ヒューマンエラー研究の目指すもの	分担執筆	2010年4月26日	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編「安全・安心を科学する」 pp.49-52
(学術論文) Detailed analysis of distraction induced by in-vehicle verbal interactions on visual search performance	共著	2010年	IATSS	IATSS Research 34 pp.42-47, Kazumitsu Shinohara, Takahiro Nakamura, Seiji Tatsuta, Youichi Iba 査読有
(その他、論考・研究資料等) 専門工事業の自律的な安全活動の促進を目指して——これからの現場の安全管理の進め方——	単著	2010年3月	労働調査会	そら No.18 (2010.03) pp.5~15
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 大学教育と安全への取組み——関西大社会安全学部が抱く構想——	単独	2010年10月16日	(社)日本機械学会関西支部	第11回秋季技術交流フォーラム、立命館大学草津キャンパス
(招待講演) 災害防止とヒューマンエラー	単独	2010年6月11日	(社)東大阪労働基準協会	平成22年度全国安全週間実施要綱等説明会、ユトリート東大阪
行動災害とヒューマンエラー	単独	2010年6月28日	チッソ(株)水保本部	チッソ株式会社水保本部 全国安全週間講演 チッソ株式会社水保本部研修センター大会議室
特別報告 高齢労働者の災害リスク低減のための労働衛生対策	単独	2010年10月7日	中央労働災害防止協会	全国産業安全衛生大会 健康づくり分科会、アクロス福岡シンフォニーホール
ヒューマンエラーへの対応——現場での悩みと課題——	単独	2010年11月25日	(社)化学工学会安全部会	講演会「化学プロセスの安全管理」——ヒューマンファクターの本質を探る——、キャンパスイノベーションセンター国際会議室
リアル危険体感教育～あなたの職場ですぐ実践～	単独	2010年12月17日	中央労働災害防止協会	職場で活かせる安全衛生一コマ講座、産業安全会館
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 厚生労働省労働安全衛生総合研究事業	代表	2009年度～ 2010年度	7,500	加齢に伴う心身機能の変化と労働災害リスクに関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員				
(社会貢献活動) (社)全国建設業協会 「安全問題等検討ワーキンググループ」委員 2010年6月～2011年3月 東北電力受託研究プロジェクト「安全意識向上のためのヒューマンファクターの視点からの方策に関する研究」技術情報交換研究会、東北大学大学院工学研究科、2010年7月26日～現在 平成22年度産業技術調査事業「大学等の試験研究活動に影響を与える規制・制度の調査研究」検討委員会委員、(株)日本総合研究所、2010年12月1日～2011年3月31日 東京電力(株)工務部 第9回品質向上フォーラム パネラー、2010年10月21日、航空会館 危険再認識教育普及事業委員会・同検討部会委員、(社)全国登録教習機関協会 「危険再認識教育」講師養成研修 総合指導、(社)全国登録教習機関協会				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 自然災害と復興支援	分担執筆	2010年2月	明石書店	林勲男編著、私は「目撃証言から津波の挙動を探る」(pp.221-246)を担当した。
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等) 新聞紙上看る「防災」の盛衰	単著	2010年5月	名古屋大学環境学研究科	2004年北部スマトラ地震調査報告VI, pp.208-211
静岡県における防災教育～地震・津波連続複合災害への対応に向けて～	単著	2010年11月	文部科学省地震調査推進本部	地震本部ニュース, 2010年11月号, pp.6-7
書評「隠された大震災(山下文男著, 東北大学出版会)」	単著	2010年11月	日本地震学会	ニュースレター, 22巻4号, pp.7-8
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) アンケート調査から明らかになった2009年駿河湾の地震による揺れと被害の特徴	共同	2010年5月25日	日本地球惑星科学連合	合同大会、於幕張メッセ
2009年駿河湾の地震における被害の拡大・抑止要因	共同	2010年10月28日	日本地震学会	秋季大会、於広島国際会議場
The Drill Book of Tsunami Evacuation Based on Recreated Pictures and Stories of Victims	共同	2010年11月10日	Asian Seismological Commission	第9回大会、於ベトナム・ハノイ市
(招待講演) 防災に地震学をいかす～新幹線からコミュニティ防災まで～	単独	2010年7月23日	京都大学防災研究所	火山研究グループ研究会、於京都大学防災研究所
個人の被災体験を地域防災活動にいかす試み	単独	2010年12月6日	京都大学防災研究所	災害科学を基礎とした地域防災活動に関する総合討論会、於京都大学宇治おうばくプラザ
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 静岡県受託研究	代表	2009年11月1日～2010年3月20日	484 (484)	平成21年8月11日駿河湾を震源とする地震被害調査研究
文部科学省防災教育支援推進プログラム・防災教育支援事業	分担	2009年7月～2010年3月	1,950 (4,400)	静岡県における地震・津波複合災害に関する防災教育の高度化と普及
JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力事業	分担	2008年～2011年	200 (800)	インドネシアにおける地震火山の総合防災策(サブテーマ 災害教訓の収集と伝承)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会、代議員、大会・企画委員 歴史地震研究会、広報委員長 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 平成21年度アジア・太平洋各国の防災力強化支援実施業務(内閣府)、学術アドバイザー 第9回しずおか川自慢大賞、審査員 独立行政法人防災科学技術研究所、地震瞬時速報利用検討委員会、委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				

■ 元 吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 体験で学ぶ社会心理学 不安喚起型から自己高揚型の防災力向上へ	編著 分担執筆	2010年4月 2010年4月	ナカニシヤ出版 産経新聞出版	pp.1-196 関西大学社会安全学部(編) 安全・安心を科学する pp.101-104
(学術論文)				
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) The effect of a message sender's experience on receivers' attitudes toward an object and intentions to sample experiences with the object 学校における心理危機マネジメント研究の展開——学校を安全で安心できる育ちの場とするために—— 知覚された身近さが駆り立てる行動意図——共感性、イメージの鮮明さが援助行動・情報探索・共有意図に与える影響過程—— 避難所運営訓練システム(STEP)の効果測定——女子大学生を対象とした検討—— 食の安全に対する態度と購買意図の関連——米国産輸入牛肉と中国製輸入食品との比較——	共同 共同 共同 共同 単独	2010年1月30日 2010年8月28日 2010年9月18日 2010年9月18日 2010年9月21日	Society for Personality and Social Psychology 日本教育心理学会 日本社会心理学会 日本社会心理学会 日本心理学会	The 11th Annual Society for Personality and Social Psychology Conference, Las Vegas, Nevada. 日本教育心理学会第52回総会、早稲田大学 日本社会心理学会第51回大会、広島大学 日本社会心理学会第51回大会、広島大学 日本心理学会第74回大会、大阪大学
(招聘講演) 省エネ行動促進メッセージの提示	単独	2010年3月16日	名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会	第5回名大発——省エネ推進と地球温暖化防止、名古屋大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C 名古屋大学総長裁量経費 名古屋大学大学院教育発達科学研究科長裁量経費 名古屋大学大学院教育発達科学研究科長裁量経費	分担 分担 分担 代表	2010~2012年 2010年 2010年 2010年	1,900円 (3,600円) 1,100円 600円 200円	薬のリスク等をテーマとした医療分野へのリスクコミュニケーションの応用に関する研究 CO ₂ 排出削減アクションプラン実現のための具体的方策の提案 心理危機マネジメントに関する研究 唾液中コルチゾール濃度によるストレス評価実験システムの基盤整備
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会、日本教育心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会、Asian Association of Social Psychology、日本社会心理学会、日本リスク研究学会、Society for Risk Analysis、東海心理学会、地域安全学会、Society for Personality and Social Psychology、International Association of Applied Psychology、American Psychological Association				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項)				

研 究 業 績

■ 金 子 信 也

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を実現するためのメンタルヘルス	分担執筆	平成22年 4 月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部, 金子信也, pp.57-60
(学術論文)				
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 「リスクマネジメントの観点から見た自営業者・中小企業経営者のメンタルヘルス」	単独	平成22年 12月11日	関西大学先端科学技術推進機構	関西大学先端科学技術推進機構 オープンセミナー Seminar-Series "SAFETY SCIENCE" 第9回社会安全学セミナー 総合討論 「社会安全学部の挑戦」, 関西大学 高槻ミューズキャンパス
(招待講演) 「リスクマネジメントの観点から見た自営業者・中小企業経営者のメンタルヘルス」	単独	平成22年 9月18日	日本リスクマネジメント学会	日本リスクマネジメント学会 統一論題 パネルディスカッション, 関西大学 高槻ミューズキャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会 (フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK 日本支部) 主任研究員				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項) 大原看護専門学校看護学科 非常勤講師 2004年 4月 1日～現在, 公衆衛生学を担当 郡山国際メディカルテクノロジー専門学校看護学科 非常勤講師 2009年 4月 1日～現在, 公衆衛生学を担当				

■ 河野和宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編著. 私は、「情報セキュリティはまず人の意識から」(pp. 77-80)を担当した.
(学術論文) A Consideration on the Numbers of Relay Nodes and Encryption Required for Anonymous Communication System 3-Mode Net	共著	2010年1月	Journal of Information Assurance and Security	K. Kono, S. Nakano, Y. Ito, N. Babaguchi, Vol. 5, No. 3, pp.276-283 (査読あり)
Theoretical Analysis of the Performance of Anonymous Communication System 3-Mode Net	共著	2010年7月	IEICE Trans. on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences	K. Kono, S. Nakano, Y. Ito, N. Babaguchi, Vol. E93-A, No. 7, pp.1338-1345 (査読あり)
(その他、論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 多重ループバックを用いた Crowds 型匿名通信方式	共同	2010年1月20日	電子情報通信学会 情報セキュリティ研究 専門委員会 (ISEC 研)	2010年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2010) (香川県), 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登, 6 ページ
Anonymous Communication System Using Probabilistic Choice of Actions and Multiple Loopbacks	共同	2010年8月24日	IEEE	Proc. 6th International Conference on Information Assurance and Security (Atlanta, USA), K. Kono, S. Nakano, Y. Ito, N. Babaguchi, pp.210-215 (査読あり)
(招待講演)				
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・研究活動スタート支援	代表	2010~2011	1,250 (2,400)	個人情報保護のための匿名性を有するシステムの開発
以下、フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)				
(社会貢献活動)				
(その他業績として記載を希望する事項) 第6回 IEEE 関西支部学生研究奨励賞を受賞 (2010年2月22日)				

研 究 業 績

■ 城 下 英 行

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 安全・安心を科学する	分担執筆	2010年4月	産経新聞出版	関西大学社会安全学部編、「防災「参加」を広げたい——防災教育の新しい形——」(pp.109-112)を分担.
(学術論文) 2010年チリ中部地震による日本での津波被害に関する広域現地調査	共著	2010年11月	土木学会	都司嘉宣, 大年邦雄, 中野晋, 西村裕一, 藤間功司, 今村文彦, 柿沼太郎, 中村有吾, 今井健太郎, 後藤和久, 行谷佑一, 鈴木進吾, 城下英行, 松崎義孝著. 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.66, No.1(査読有り). 共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能.
(その他, 論考・研究資料等)				
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) An international seminar for providing a way to real participation in disaster management	共同	2010年6月2日	International Disaster and Risk Conference 2010	International Disaster and Risk Conference 2010, Davos, Switzerland
Exploring a sustainable disaster education system in the developing world-- A case study from Dahachok VDC, Kathmandu	共同	2010年6月2日	International Disaster and Risk Conference 2010	International Disaster and Risk Conference 2010, Davos, Switzerland
Revisiting the "Integrated Disaster Management" from tracing the history of Japanese disaster management	共同	2010年9月1日	International Society for Integrated Disaster Risk Management	1st IDRiM Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management, Vienna, Austria
教えない防災教育から学ぶこと	単独	2010年9月15日	日本自然災害学会	第29回日本自然災害学会学術講演会, 岐阜大学
「参加型」防災を再考する	単独	2010年9月19日	日本安全教育学会	日本安全教育学会第11回宮城大会, 東北大学
(招待講演) Disaster Education as an Access to Communities of Practice		2010年9月7日	Northumbria, Glamorgan, Kyoto Universities and UCL	ESRC Seminar series on Disaster Education in the UK, London, UK
地域で取り組む新たな防災活動		2010年9月25日	高槻市コミュニティ市民会議	高槻市コミュニティリーダー研修会, 高槻現代劇場
The Challenge of the Faculty of Safety Science (FSS) from Disaster Education Perspective		2010年10月26日	University of Incheon and Northumbria University	Policy makers, academic and practitioners' seminar on Local Disaster Risk Reduction and Climate Change Adaptation for green growth development in Asia, Incheon, Republic of Korea
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期 間	平成22年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・研究活動スタート支援	代表	2010年度～ 2011年度	900円 (196円)	専門家と住民の協働による防災教育の場の創出に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会 日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会				

(社会貢献活動) 日本災害情報学会 第12回学会大会実行委員会委員 大阪府立吹田東高等学校 学校協議会委員 兵庫県 避難対策に関する専門委員会委員
(その他業績として記載を希望する事項)